



北海道大学大学院理学研究科・理学部

広 報

第20号
2002年（平成14年）7月

目 次

[第2回北海道・東北地区国立大学理学部長会議開催される](#)

[第97回国立10大学理学部長会議開催される](#)

[本学と中国浙江大学との大学間交流協定締結記念シンポジウムが開催される](#)

[ウクライナ・ボゴリューボフ理論物理学研究所との国際学術交流協定を締結](#)

[第27回偏微分方程式論札幌シンポジウムの開催について](#)

[平成15年度大学院理学研究科入学試験について](#)

[平成15年度理学部物理学科第3年次編入学生募集について](#)

[海外からの来訪者](#)

[学会賞等の受賞](#)

[名誉教授称号授与](#)

[学位授与](#)

[新任教官紹介](#)

[訃報](#)

[人事異動](#)

[各種委員会委員\(PDFファイル413k\)](#)

[行事予定](#)

第2回北海道・東北地区国立大学理学部長会議開催される

第2回北海道・東北地区国立大学理学部長会議が4月25日、26日の両日、山形大学の当番により山形市で開催されました。

本会議では、去る3月26日に文部科学省調査検討会議から出された、新しい「国立大学法人」像について（最終報告）を受けて、各大学における法人化問題の取り組みと理学部の対応について情報交換が行われました。

また、平成15年度から、改訂された高等学校学生指導要領が完全実施されることに伴い、大学入試センターが3月28日に発表した「平成18年度からの大学入試センター試験の出題教科・科目について」の中間まとめを踏まえ、各大学の検討状況全般及び最近の入試状況等を含め情報交換が行われました。

なお、この会議には、長田研究科長が外国出張中のため岡田評議員が代理で出席しました。

第97回国立10大学理学部長会議開催される

第97回国立10大学理学部長会議が5月16日、17日の両日、東北大学の当番により仙台市で開催されました。

はじめに、出席した文部科学省高等教育局の徳久治彦専門教育課長から「平成14年度予算の概要」等について、資料に基づき説明の後、意見交換が行われました。

次いで、議題(1)「大学評価機構による理学分野別評価に係る評価結果とその公表に係る問題点」(2)「COEプログラムへの理学系の対応状況」(3)「大学法人化と理学振興」(4)「評価」、「法人化」に対する対外アピール」等について、活発な意見交換、情報交換が行われました。

本学と中国浙江大学との 大学間交流協定締結記念シンポジウムが開催される



去る平成14年4月23日(火)中国杭州市において、本学と中国浙江大学との大学間交流協定締結記念シンポジウムが開催されました。このシンポジウムは、平成14年1月20日に締結された本学と中国浙江大学との大学間交流協定締結を記念して行われたもので、責任部局である本研究科が、長田研究科長を中心として、準備を進めていたものであります。

今回のシンポジウムには、本学から、中村総長、長田研究科長、津田一郎教授、龔劍萍助教授をはじめ総勢12名が参加し、4つの専門分野に分かれての講演並びに活発な討論等が行われ、大変有意義なものとなりました。

また、シンポジウムに先立って、両大学総長、長田研究科長等が会見し、両大学の今後の交流について話し合われました。



〔シンポジウムの北大側講演者・講演題目、両大学総長等の会見及び各分科会報告については、本学ホームページ「ニュースとお知らせ」
<http://www.hokudai.ac.jp/bureau/news/news-top/china-simpo.htm> を御覧願います。〕

ウクライナ・ボゴリューボフ理論物理学研究所との 国際学術交流協定を締結

このたび、ウクライナ共和国キエフ市にあるウクライナ科学アカデミー・ボゴリューボフ理論物理学研究所と本研究科の間で国際学術交流協定が結ばれました。

本研究科とボゴリューボフ理論物理学研究所の間では、これまでも共同研究等のための研究者の相互訪問、留学生の受け入れなどを行ってきましたが、今回の協定締結は原子核物理学、素粒子物理学を中心とした理論物理学・自然科学分野での研究者の交流、共同の研究課題の設定、国際シンポジウムなど共同開催を通じた学術交流を内容として、国際交流をいっそう発展させようとするもので、その期間は5年間としています。

本協定は、2月8日の本研究科教授会で承認された後、協定書の作成に入り、出来上がった協定書に長田研究科長の署名をいただいて、ボゴリューボフ理論物理学研究所の方に送付しました。6月6日に、ナトリー・ザゴロドニー研究所長代理の著名入りの協定書が到着し、協定に基づく相互の学術交流活動がスタートしました。

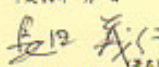
この協定締結により、本研究科の部局間協定は、ロシア科学アカデミー・シベリア支部・地質学・地球物理学研究所、ノボシビルスク国立大学、ウッジ工科大学、北京大学化学分子工程学院、ブタペスト工科大学化学工学部、ロシア科学アカデミー・ウラル研究所・金属物理学研究所とあわせて7大学・研究所となりました。

日本国北海道大学大学院理学研究科と
ウクライナ国ボゴリューボフ理論物理学研究所との
学術交流に関する協定書

北海道大学大学院理学研究科とウクライナ国ボゴリューボフ理論物理学研究所（以下、「両者」）は、理学分野、とりわけ原子核物理学及び素粒子物理学分野における相互の学術交流と協力を通じて研究・教育の発展を図るために、ここに学術交流に関する協定を締結する。

1. 両者は、平等と相互利益の原則に基づき、以下の活動における協力関係を推進・発展させる。
 - (i) 教員及び研究者の交流
 - (ii) 後進育成のための交流
 - (iii) 学術資料、著作物及び関連情報の交換
 - (iv) 共同研究・シンポジウム、及び共同著作物作成・提出の実施
2. 両者は、協力関係の発展にむかふ資料・費用の確保に努める。両者は、必要経費を個別に負担するものとする。
3. 本協定書は、調印の日から効力を生じ、有効期限は5年間とする。両者の協議によって、更新、修正及び終了することができる。
4. 両者は、研究交流の信頼性を保証するため、電子メール・ファクシミリ・航空郵便を利用して、研究交流の活動を推進する責任者間において緊密な連絡の確保に努めるものとする。通信機関の使用により生じた費用は、送信側の負担とする。
5. この協定書は、日本語、ウクライナ語及び英語で作成され、両者が各1通ずつ保管する。作成されたこれらの3ヶ国語の文書は等しく正式とする。

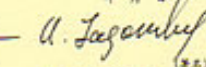
平成 14 年 月 日



長 岡 良 一

日本国
北海道大学大学院理学研究科長

年 月 日



Anatoly G. Zagorodny

ウクライナ国
ボゴリューボフ理論物理学研究所所長代理

Agreement for Academic Collaboration between
Graduate School of Science, Hokkaido University, Japan and
Bogolyubov Institute for Theoretical Physics, Ukraine

Graduate School of Science, Hokkaido University and Bogolyubov Institute for Theoretical Physics hereafter, "the Parties") wish to initiate an exchange program and sign this Agreement to promote academic and educational exchange and collaboration in the field of nuclear physics and physics of elementary particles.

1. The parties will promote and develop their cooperation in the following activities upon the principles of equality and reciprocity:
 - i) exchange of researchers;
 - ii) training of young researchers;
 - iii) exchange of academic materials, publications and related information;
 - iv) conducting joint research projects, preparation and submission of joint publications.
2. The Parties will make efforts to secure the expenses necessary to develop their cooperation. The parties will be supposed to bear the required costs.
3. This Agreement will come into effect on the day when it is signed by the Parties and will remain valid for the period of five years. This Agreement may be extended, amended or made void upon mutual negotiations.
4. The Parties agree to establish frequent communications via e-mail, fax and air mail on the level of leaders of project teams in order to insure reliability of joint research. The expenses of using communication facilities will be covered by the sending party.
5. This Agreement is made in Japanese, Ukrainian and English languages. The three texts are equally authentic.

Date:

Signatures:



Yoshihito Osada, Professor

Dean of Graduate School of Science,
Hokkaido University, Japan



Anatoly G. Zagorodny, Professor

Deputy Director of Bogolyubov
Institute for Theoretical Physics
Kiev, Ukraine

УГОДА ПРО АКАДЕМІЧНУ СПІВПРАШО між
Вищою школою наук Університету Хоккайдو (Японія)
та Інститутом теоретичної фізики ім. М. М. Боголюбова
(Україна)

Вища школа наук Університету Хоккайдو та Інститут теоретичної фізики ім. М. М. Боголюбова (надалі - "Сторони") бажають ініціювати обмінні науковий та освітній програми та підписати цю угоду про сприяння науковому, освітньому обміну та співпраці у галузі ядерної фізики та фізики елементарних частинок.

1. Сторони сприяють розвитку співробітництва у наступних напрямках, астромуковим принципах рівності та взаємності:
 - i) обмін науковцями;
 - ii) стажування молодих спеціалістів;
 - iii) обмін академічними матеріалами, публікаціями та іншою інформацією;
 - iv) проведення спільних дослідницьких проєктів, підготовки та публікації спільних робіт.
2. Сторони зобов'язуються забезпечити витрати, необхідні для розвитку співробітництва. Обидві сторони зобов'язані нести на себе відповідні витрати.
3. Ця Угода наберє чинності з моменту її підписання Сторонами та залишатиметься дієвою на протязі п'яти років. Угоду може бути продовжено, змінено або скасовано після двосторонньої консультації.
4. Сторони погоджуються підтримувати постійні контакти шляхом електронної пошти, факсу та авіапошти на рівні керівників проєктних груп з метою забезпечення ефективності спільних досліджень. Коштовісні витрати беє на себе Сторони-відправники.
5. Цю Угоду складено англійською, українською та японською мовами. Усі ці три тексти є аутентичними.

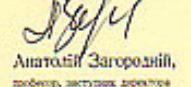
Date:

Signatures:



Yoshihito Osada,

professor, Dean of Higher School of Science,
University of Hokkaido, Sapporo



Anatoly G. Zagorodny,

professor, Deputy Director of Bogolyubov
Institute for Theoretical Physics
Im. M. M. Bogolyubov, Kiev, Ukraine

>>協定書PDF(113k)

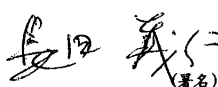
日本国北海道大学大学院理学研究科と
ウクライナ国ボゴリューボフ理論物理学研究所との
学術交流に関する協定書

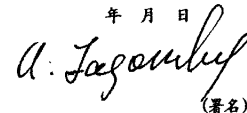
北海道大学大学院理学研究科とウクライナ国ボゴリューボフ理論物理学研究所（以下、「両者」）は、理学分野、とりわけ原子核物理学及び素粒子物理学分野における相互の学術交流と協力を通じて研究・教育の発展を図るために、ここに学術交流に関する協定を締結する。

1. 両者は、平等と相互利益の原則に基づき、以下の活動における協力関係を推進・発展させる。
 - (1) 教官及び研究者の交流
 - (2) 後進育成のための交流
 - (3) 学術資料、著作物及び関連情報の交換
 - (4) 共同研究・シンポジウム、及び共同著作物作成・提出の実施
2. 両者は、協力関係の発展にかかる資材・費用の確保に努める。両者は、必要経費を個別に負担するものとする。
3. 本協定書は、調印の日から効力を生じ、有効期限は5年間とする。両者の協議によって、更新、修正及び修了することができる。
4. 両者は、研究交流の信頼性を保証するため、電子メール・ファクシミリ・航空郵便を利用して、研究交流の活動を推進する責任者間において緊密な連絡の確保に努めるものとする。通信機関の使用により生じた費用は、送信側の負担とする。
5. この協定書は、日本語、ウクライナ語及び英語で作成され、両者が各1通ずつ保管する。作成されたこれらの3ヶ国語の文書は等しく正文とする。

平成14年 月 日

年月日


(署名)


(署名)

日本国
北海道大学大学院理学研究科長

Anatoly G. Zagorodny
ウクライナ国
ボゴリューボフ理論物理学研究所所長代理


Agreement for Academic Collaboration between
Graduate School of Science, Hokkaido University, Japan and
Bogolyubov Institute for Theoretical Physics, Ukraine


Graduate School of Science, Hokkaido University and Bogolyubov Institute for Theoretical Physics (hereafter, "the Parties") wish to initiate an exchange program and sign this Agreement to promote academic and educational exchange and collaboration in the field of nuclear physics and physics of elementary particles.

1. The parties will promote and develop their cooperation in the following activities upon the principles of equality and reciprocity:
 - i) exchange of researchers;
 - ii) training of young researchers;
 - iii) exchange of academic materials, publications and related information;
 - iv) conducting joint research projects, preparation and submission of joint publications.
2. The Parties will make efforts to secure the expenses necessary to develop their cooperation. The parties will be supposed to bear the required costs.
3. This Agreement will come into effect on the day when it is signed by the Parties and will remain valid for the period of five years. This Agreement may be extended, amended or made void upon mutual negotiations.
4. The Parties agree to establish frequent communications via e-mail, fax and air mail on the level of leaders of project teams in order to insure reliability of joint research. The expenses of using communication facilities will be covered by the sending party.
5. This Agreement is made in Japanese, Ukrainian and English languages. The three texts are equally authentic.

Date:

Signatures:


Yoshihito Osada, Professor
Dean of Graduate School of Science,
Hokkaido University, Japan


Anatoly G. Zagorodny, Professor
Deputy Director of Bogolyubov
Institute for Theoretical Physics
Kiev, Ukraine


УГОДА ПРО АКАДЕМІЧНУ СПІВПРАЦЮ між
Вищою школою наук Університету Хоккайдо (Японія)
та Інститутом теоретичної фізики ім. М. М. Боголюбова
(Україна)


Вища школа наук Університету Хоккайдо та Інститут теоретичної фізики ім. М. М. Боголюбова (надалі - "Сторони") висловлюють намір розпочати програму обміну та підписати цю угоду про сприяння науковому, освітньому обміну та співпраці у галузі ядерної фізики та фізики елементарних частинок.

1. Сторони сприятимуть розвитку співробітництва у наступних питаннях, дотримуючись принципів рівності та взаємності:
 - i) обмін науковцями;
 - ii) стажування молодих спеціалістів;
 - iii) обмін наковими матеріалами, публікаціями та іншою інформацією;
 - iv) проведення спільних дослідницьких проєктів, підготовка та публікація спільних робіт.
2. Сторони намагатимуться забезпечити витрати, необхідні для розвитку співробітництва. Очікується, що Сторони спільно беруть на себе відповідні витрати.
3. Ця Угода набирає чинності з моменту її підписання Сторонами та залишається дійсною на протязі п'яти років. Угоду може бути розширено, змінено або скасовано після двосторонніх консультацій.
4. Сторони погоджуються підтримувати постійні контакти шляхом електронної пошти, факсу та авіапошти на рівні керівників відповідних груп з метою забезпечення ефективності спільних досліджень. Комунікаційні витрати бере на себе Сторона-відправник.
5. Цю Угоду складено японською, українською та англійською мовами. Усі три тексти є автентичними.

Дата:

Підписи:


Йошихіто Осада,
професор, декан Вищої школи наук,
Університет Хоккайдо, Японія


Анатолій Загородній,
професор, заступник директора
Інституту теоретичної фізики
ім. М. М. Боголюбова, Київ, Україна

第27回偏微分方程式論札幌シンポジウムの開催について

第27回偏微分方程式論札幌シンポジウムが下記の通り開催されます。

日 時：平成14年7月31日～8月2日

場 所：北海道大学大学院理学研究科3号館、5号館

平成15年度大学院理学研究科入学試験について

本研究科では、平成15年度修士(博士前期)課程及び博士後期課程入学試験を下記のとおり行います。なお、本年度の願書受付期間は、7月1日(月)～8日(月)までで、すでに終了しています。

1. 入学試験日

平成14年7月30日～8月1日

2. 学生定員

	修士課程(博士前期)課程	博士後期課程
数 学 専 攻	46名	22名
物 理 学 専 攻	39名	19名
化 学 専 攻	48名	23名
生 物 科 学 専 攻	44名	21名
地 球 惑 星 科 学 専 攻	38名	18名
合 計	215名	103名

平成15年度理学部物理学科第3年次編入学学生募集について

本学部では、平成15年度物理学科第3年次編入学学生募集を下記のとおり行うことになりました。
なお、募集要項等の詳細については、教務掛にお問い合わせ下さい。

記

募集人員 若干名

願書受理期間

平成14年7月18日(木)～26日(金)

入学試験

平成14年8月23日(金)

[<< Back to TOP](#)

[Next Page >>](#)

◆ 海外からの来訪者

期間：平成14年4月1日～6月30日

受入れ専攻等名>> [数学専攻](#) | [化学専攻](#) | [生物科学専攻](#) | [地球惑星科学専攻](#)

(受入れ専攻等名：数学専攻)

年 月 日 (期 間)	来 訪 者 (国名・所属・職名・氏名)	目 的
14.5.28～5.29	ドイツ・ハンブルグ大学・ 教授・Peter Slodowy	研究
14.6.9～6.14	ハンガリー・北陸先端科学技術大学院大学・ 教授・Kampis George	思考・推論の神経相関に関する理論的研究 に関する研究打ち合わせ
14.6.12～6.18	アメリカ・Johns Hopkins大学・ 教授・Steven Zucker	モジュライ空間の幾何学の総合的な研究に 関する研究打ち合わせ
14.6.16～6.25	台湾・彰化師範大学・ 教授・陳兆年	物質科学に現れる偏微分方程式の解析に関 する研究打ち合わせ
14.6.24～6.30	アメリカ・Univ.California,SamDiego・ 助教授・Keith Conrad	群論とカテゴリー論から見た母関数の研究 に関する研究打ち合わせ

(受入れ専攻等名：化学専攻)

年 月 日 (期 間)	来 訪 者 (国名・所属・職名・氏名)	目 的
14.4.29～5.20	韓国・西江大学・ 教授・白雲基	金属ナノクラスター集積多層膜の構造と光 学的性質に関する研究
14.6.13	アメリカ・ウィスコンシン・マディソン大学・ 教授・Robert M.Corn	表敬訪問
14.6.20～6.21	カナダ・プリティッシュコロンビア大学・ 教授・David Dolphin	ポルフィリンの化学に関する講演会
14.6.25～6.26	アメリカ・スタンフォード大学・ 教授・James P.Collman	講演会

(受入れ専攻等名：生物科学専攻)

年 月 日 (期 間)	来 訪 者 (国名・所属・職名・氏名)	目 的
14.5.21～5.24	アメリカ・ハーバード大学・比較動物学博物館・ 教授・R.M.Woollacott	海産無脊椎動物に関する共同研究の打ち 合わせ
14.5.21～5.24	ポーランド・ヤギエウォニアン大学・ 分子生物学研究所・所長(教授)・ カシミエル・ストラウカ	植物生化学研究に関する研究討論と共同 研究打ち合わせ
14.6.16-6.23	タイ・マヒドール大学・理学部・ 助教授・ジャルンヤ・ナランガジャヴァ	高等植物の糖シグナリング・輸送の分子機 構に関する共同研究打ち合わせ

(受入れ専攻等名：地球惑星科学専攻)

海外からの来訪者

年 月 日 (期 間)	来 訪 者 (国名・所属・職名・氏名)	目 的
14.5.1 ~ 5.9	フランス・CNRS第四紀地質学研究所・ 助教授・Ruc Beaufort	「温室期の地球環境」共同研究
14.5.16 ~ 5.20	ノルウェー・ノルウェー気象局・ 北部管区気象台管区長・Helge Tangen	北極圏の気象擾乱に関する研究打ち合わせ
14.5.16 ~ 5.20	ノルウェー・ノルウェー気象局・ Magnus Ovhed	北極圏の気象擾乱に関する研究打ち合わせ

◆ 学会賞等の受賞

東京大学物性研究所 福島孝治助手、北海道大学大学院理学研究科物理学専攻 根本幸児助教は、「Exchange Monte Carlo Method and Application to Spin Glass Simulations, Koji HUKUSHIMA and Koji NEMOTO, J.Phys.Soc.Jpn.Vol.65 No.6 1604-1608(1996)」により、平成14年3月26日、日本物理学会から、第7回日本物理学会論文賞を受賞されました。

北海道大学大学院理学研究科化学専攻 谷口和彌教授は、「イオン輸送ポンプ (Na/K-ATPaseとH/K-ATPase) の研究」により、平成14年5月25日、スエーデンリンシェーピング大学から名誉医学博士の学位を授与されました。

◆ 名誉教授称号授与

元数学専攻代数構造学講座	井 上 純 治 教授
元化学専攻機能分子化学講座	村 井 章 夫 教授
元生物科学専攻形態機能学講座	落 合 廣 教授
元地球惑星科学専攻地球惑星物理科学講座	浦 上 晃 一 教授

本年3月31日限り定年により退官された4教授に対し、4月1日付けで本学名誉教授の称号が授与され、6月14日事務局大会議室において称号授与式が行われました。

◆ 学位授与

平成14年6月28日学位授与者(2名)
(課程博士)

大 坂 裕 夫(数学専攻)

PSEUDO-EIGENVALUES OF W-OPERATORS ON HILBERT MODULARFORMS
(主査：三宅 敏恒教授)

Quayum Mohammed Emran(化学専攻)

Studies on Surface Reactions at Hydrogen Terminated Si(111)Surface by
Attenuated Total Reflectance IR Spectroscopy

(主査：魚崎 浩平教授)

◆ 新任教官紹介

そらい かずお
徂 徠 和 夫 (物理学専攻量子物理学講座助手)

(平成14年5月1日採用)



最終学歴：平成10年3月東京大学大学院理学系研究科天文学専攻博士課程修了、
学位：博士「理学」、
略歴：平成10年4月通信・放送機構国内招聘研究員、平成11年4月国立天文台
教務補佐員、平成12年12月同COE研究員、専門分野：銀河天文学

やまもと しょうじ
山 本 昌 司 (物理学専攻凝縮系物理学講座教授)

(平成14年7月1日転入)



最終学歴：平成5年3月京都大学大学院理学研究科物理学第一専攻博士課程修了、
学位：「理学博士」、
略歴：平成5年4月京都大学理学部研修員、平成5年7月大阪大学教養部助手、平
成6年4月同理学部助手、平成7年4月同大学院理学研究科助手、平成8年10月
岡山大学理学部助教授、平成12年4月同大学院自然科学研究科助教授、この間平
成8年3月 - 9月ドイツ連邦ハノーファー大学研究員、専門分野：物性理論

◆ 訃 報

教授 渡邊 暉夫氏（享年58歳）

教授（理学研究科地球惑星科学専攻）渡邊暉夫氏は、平成14年5月9日（木）午後3時00分、不慮の事故によりご逝去されました。

ここに謹んで哀悼の意を表します。

名誉教授 金澤 昭氏（享年71歳）

名誉教授（元理学部教授）金澤昭氏は、病気療養中のところ平成14年6月1日（土）午後2時58分、ご逝去されました。

ここに謹んで哀悼の意を表します。

◆ 人事異動

平成14年5月1日付け発令
(採用)

物理学専攻量子物理学講座助手

徂 徠 和 夫

国立天文台研究機関研究員から

(転入)

会計掛主任

山 本 久 仁

千葉大学経理部契約室契約第二係主任から

(採用)

庶務掛(研究支援業務担当)事務補助員

竹 内 由 香

平成14年5月31日付け発令
(辞職)

庶務掛(研究支援業務担当)事務補助員

山 崎 治 子

平成14年6月1日付け発令
(転出)

生物科学専攻形態機能学講座教授

米 田 好 文

東京大学大学院理学系研究科教授へ

化学専攻分子変換化学講座助手

近 藤 敏 啓

お茶の水女子大学理学部助教授へ

(採用)

庶務掛(研究支援業務担当)事務補助員

村 上 美 礼

平成14年7月1日付け発令
(転入)

物理学専攻凝縮系物理学講座教授

山 本 昌 司

岡山大学大学院自然科学研究科助教授から

(昇任)

生物学専攻形態機能学講座助教授

高 田 泰 弘

同専攻同講座講師から

◆ 行事予定

月	日	曜	事 項
7	1 18 23 26 29 30 30	月 木 火 金 月 火 火	修士(博士前期)課程及び博士後期課程願書受付(～8日) 3年次編入学願書受付(～26日) 全学教育部補講日(～25日) 全学教育部第1学期授業終了 全学教育部第1学期定期試験(～8月8日) 夏季休業(～9月20日) 修士(博士前期)課程及び博士後期課程入学試験(～8月1日)
8	2 5 6 9 9 9 9 9 16 19 20 29 30	金 月 火 金 金 金 金 金 金 月 火 木 金	第2学期授業時間割の提出締切 オープンユニバーシティ 理学部一日体験入学 全学教育部第1学期追試験(～13日) 全学教育部夏季休業(～9月27日(金)) 入学試験委員会10:00 研究科教授会13:30 修士(博士前期)課程及び博士後期課程入学試験合格発表15:00 9月学位授与予定者の審査報告関係書類提出締切 研究生・聴講生・科目等履修生願書受付(～23日) 学位申請(9月付託)締切 全学教育部第1学期定期試験及び追試験成績提出締切12:00 専攻長・学科長会議 13:30
9	6 6 6 6 24 25 25 30	金 金 金 金 火 水 水 月	入学試験委員会13:00 研究科教授会13:30 学部教授会15:30 3年次編入学試験合格者発表15:00 補講集中講義期間(～30日) 学位申請(10月付託)締切 学位記授与式 全学教育部第2学期授業開始

10	1	火	第2学期授業開始
	1	火	第1学期授業専門科目成績提出締切
	4	金	修士(博士前期)課程及び博士後期課程二次試験実施の有無締切
	4	金	専攻長・学科長会議13:30
	9	水	学部学生(2年次以上)履修届受付(～10日)
	11	金	研究科教授会13:30
	16	火	AO入試出願期間(～23日)
	17	木	国立10大学理学部長会議(東京)
	18	金	国立大学理学部長会議(東京)
29	火	学位申請(11月付託)締切	

平成14年度研究科・学部内各種委員会委員

平成14年6月現在 No.1

◎ 委員長 (責任者)

専攻等名 委員会名	専攻等名		化学専攻		生物科学専攻		地球惑星科学専攻		そ の 他	備 考
	数学専攻	物理学専攻	化 学	化 学 二	生 物 学	高分子機能学	地球惑星物質科学	地球物理学		
専攻長・学科長会議	三宅敏恒	藤本正行		稲辺 保 佐々木陽一	片倉晴雄	西村紳一郎	蒲生俊敬	西田泰典	◎研究科長、両評議員	任期1年 15.3.31 上段は専攻長・学科長 下段は専攻委員・学科委員
点検評価委員会	三宅敏恒	藤本正行		稲辺 保 佐々木陽一	片倉晴雄	西村紳一郎	蒲生俊敬	西田泰典	◎研究科長、両評議員	専攻長・学科長及び専攻委員・学科委員が委員
将来計画委員会	津田一郎	石川健三	喜多村 昇 鈴木孝紀		山下正兼	西村紳一郎	小笹 隆司	林 祥介	◎研究科長、両評議員 センター 岡田 弘	任期2年 16.3.31
予算委員会	三宅敏恒	藤本正行		稲辺 保 佐々木陽一	片倉晴雄	西村紳一郎	蒲生俊敬	西田泰典	◎評議員 (岡田) 地震火山研究観測センター長	任期1年 15.3.31
教務委員会	辻下徹	熊谷健一	日夏幸雄	武田 定	山口淳二	川端和重	宇井忠英	小山順二	◎全学教務委員会委員 (山口)	任期1年 15.3.31
学生委員会	前田芳孝	野岩龍介	坪井泰之	高橋正行	田中 実	門出健次	角皆 潤	倉本 圭	◎評議員 (山口) 副委員長: (全学)学生委員会委員 (加藤)	任期1年 15.3.31
図書委員会	中村玄	中山隆一	藤原憲秀 八木一三		清水 隆	森 劍萍	菊地 武	前田 巫	◎ (全学)図書委員会委員 (菊地)	任期1年 15.3.31
災害対策委員会	本多尚文	小野寺 彰		矢澤道生 内藤俊雄	山岡直人	渡邊信久	沢田 健	遊馬芳雄	◎評議員 (山口)	任期1年 15.3.31
広報委員会	神保秀一	持田 潔	喜多村 昇 分島 亮		堀口健雄	出村 誠	川村信人	森谷武男	◎評議員 (岡田)	任期なし
情報ネットワーク委員会 (全学委員)	松本健司	根本幸児 *加藤幾芳 羽部朝雄	野呂武司		折内 新	姚 関	藤原嘉樹		◎ (全学)学術情報委員会情報ネットワーク 幹事委員会委員 (林) センター 山本明彦	任期1年 15.3.31 任期2年 15.3.31
			*田中 皓				*見延庄士郎			
放射線障害予防安全委員会		小田 研	*今川敏明	*稲辺 保 *杉本和則	加藤敦之	大背戸豊	三浦裕行		◎今川敏明	任期1年 15.3.31
放射線取扱主任者			今川敏明	(代)杉本和則						任期なし
放射線取扱主任者補佐			嘉屋俊二	矢澤道生	加藤敦之 高田泰弘					任期なし
エックス線取扱主任者				稲辺 保						任期なし
国際規制物質計量管理責任者		熊谷健一								任期なし
技術部運営協議会		網塚 浩	◎井川 駿一		長山俊樹		新井田清信		◎委員の互選 (技術部)小嶋山守男、三浦寛夫、宮崎信彦、梶島敬昭	任期1年 15.3.31
地震火山研究観測センター 運営委員会							蒲生俊敬 宇井忠英	西田泰典 池田隆司	◎岡田 弘 島村英紀 笠原 稔 茂木 透	任期1年 15.3.31
創基125周年記念事業 部局史編集委員会	勝股 脩	◎石垣壽郎 市川瑞彦	谷口和彌	矢澤道生	片倉晴雄	新田勝利	在田一則	播磨屋敏生		任期なし
有害廃液管理責任者			喜多村 昇						補助者 会計掛長	任期なし
端末責任者	村守隆男	市村晃一	野呂武司		折内 新	姚 関	沢田 健			任期なし

	数理系(15組)	物理系(16組)	物理系(17組)	化学系(18組)	化学系(19組)	生物系(20組)	そ の 他	備 考
クラス担任	林 実樹 廣	渡部 重十	◎河本 昇	武田 定	鈴木孝紀	小池 達郎	◎クラス担任の理学部代表教官	任期1年 15.3.31
クラス副担任	秋田利之	新井田清信		出村 誠		山口淳二		任期1年 15.3.31

平成14年度全学各種委員会委員名簿

◎ 委員長 * 研究科での選考必要なし

平成14年6月現在 No.2

専攻等名 委員会名	数 学 専 攻	物 理 学 専 攻	化 学 専 攻		生 物 科 学 専 攻		地 球 惑 星 科 学 専 攻		そ の 他	備 考
			化 学	化 学 二	生 物 学	高 分 子 機 能 学	地 球 惑 星 物 質 科 学	地 球 物 理 学		
評 議 会	山 口 佳 三							岡 田 尚 武	研 究 科 長	任 期 2 年 15.5.31
教 務 委 員 会	山 口 佳 三								研 究 科 長	任 期 2 年 15.3.31
教 務 委 員 会 教 職 課 程 専 門 委 員 会								藤 原 嘉 樹		任 期 2 年 15.3.31 (同 委 員 会 W. G. メンバー)
教 務 委 員 会 留 学 生 教 育 専 門 委 員 会						出 村 誠				任 期 2 年 15.3.31
教 務 委 員 会 教 育 シ ス テ ム 弾 力 化 検 討 専 門 委 員 会	* 山 口 佳 三									13.5.22~
高 等 教 育 機 能 開 発 総 合 セ ン タ ー 全 学 教 育 委 員 会					高 畑 雅 一					任 期 2 年 15.3.31
高 等 教 育 機 能 開 発 総 合 セ ン タ ー 全 学 教 育 科 目 責 任 者	「数学」 辻 下 徹 「教養科目」 勝 股 脩	「科学・技術の世界」 杉 山 滋 郎 「物理学」 市 川 瑞 彦	「化学」 井 川 駿 一 「環境と人間」 大 川 房 義		「生物学」 若 原 正 己		「地学」 在 田 一 則			任 期 2 年 15.3.31
高 等 教 育 機 能 開 発 総 合 セ ン タ ー 高 等 教 育 開 発 研 究 委 員 会								蓬 田 清		任 期 2 年 15.3.31
学 生 委 員 会					加 藤 敦					任 期 2 年 16.3.31
入 学 者 選 抜 委 員 会									学 部 長	官 職 指 定
入 学 者 選 抜 制 度 調 査 委 員 会	「数学」山下 博 「数学(代理)」前田芳孝	(代理)石垣壽郎	喜 多 村 昇			「理科(代理)」 川 端 和 重		「理科」池田隆司		任 期 2 年 16.3.31
大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験 ・ 第 二 次 入 学 試 験 実 施 委 員 会 総 務 部 会		中 原 純 一 郎								任 期 2 年 16.3.31
北 海 道 大 学 A O 入 試 委 員 会				佐 々 木 陽 一 15.3.31	山 口 淳 二 16.3.31		小 笹 隆 司 16.3.31			任 期 2 年
北 海 道 大 学 入 学 相 談 室			喜 多 村 昇				小 笹 隆 司			任 期 な し
高 等 教 育 機 能 開 発 総 合 セ ン タ ー 入 学 者 選 抜 企 画 研 究 委 員 会							小 笹 隆 司			任 期 2 年 16.5.31
学 術 情 報 委 員 会				田 中 皓						任 期 2 年 15.3.31
学 術 情 報 委 員 会 情 報 ネットワークシステム専門委員会		* 加 藤 幾 芳						林 祥 介		任 期 2 年 15.3.31
学 術 情 報 委 員 会 情 報 ネットワークシステム専門委員会システム利用専門部会		* 加 藤 幾 芳		* 田 中 皓						任 期 2 年 15.3.31
学 術 情 報 委 員 会 情 報 ネットワークシステム専門委員会システム技術専門部会								* 見 延 庄 士 郎		任 期 2 年 15.3.31
学 術 情 報 委 員 会 スペース・コラボレーションシステム事業専門委員会	吉 田 知 行									任 期 2 年 15.3.31
学 術 情 報 委 員 会 データベース専門委員会	津 田 一 郎									任 期 な し
学 術 情 報 委 員 会 ネットワークセキュリティポリシー策定全学ワーキンググループ		羽 部 朝 男		田 中 皓						検 討 ・ 立 案 作 業 終 了 まで
学 術 情 報 委 員 会 ネットワークセキュリティポリシー原案作成作業グループ				田 中 皓						検 討 ・ 立 案 作 業 終 了 まで
研 究 推 進 委 員 会					* 高 橋 孝 行				研 究 科 長	任 期 2 年 14.9.30
新 世 紀 重 点 研 究 創 生 プ ラ ン (R R 2 0 0 2) 調 整 会 議					ライフイェンス分野 高 橋 孝 行	ナノテクノロジー 川 端 和 重	環境分野 潘 生 俊 敬	情報通信分野 林 祥 介	防 災 (旧 社 研) 岡 田 弘	任 期 な し
点 検 評 価 委 員 会									研 究 科 長	官 職 指 定
点 検 評 価 委 員 会 幹 事 会									研 究 科 長	任 期 な し

専攻等名 委員会名	数学専攻	物理学専攻	化学専攻		生物科学専攻		地球惑星科学専攻		その他	備考
			化学	化学二	生物学	高分子機能学	地球惑星物質科学	地球物理学		
点検評価委員会教員業績評価専門委員会				*佐々木陽一						任期1年 15.3.31
点検評価委員会大学評価事業専門委員会		中原純一郎								任期2年 15.3.31(13.1.15~)
施設・環境委員会施設計画専門委員会									西田泰典	任期2年 15.3.31
施設・環境委員会構内交通専門委員会									西田泰典	任期2年 15.3.31
施設・環境委員会施設計画専門委員会 施設有効活用推進部会	林 実樹廣									任期2年 14.6.30
施設・環境委員会施設計画専門委員会 埋蔵文化財調査検討部会										
安全・防災委員会									研究科長	官職指定
安全・防災委員会安全対策専門委員会			澤村正也						研究科長	任期2年 15.3.31
安全・防災委員会 放射性同位元素等管理専門委員会				今川敏明 ~15.3.31	加藤敦之 ~16.3.31					任期2年
安全・防災委員会 組換えDNA実験安全専門委員会					加藤敦之					任期2年 16.3.31
組換えDNA実験安全主任者					高田泰弘					任期2年 15.11.27 (14.5.1~)
保健管理センター運営委員会	菅野孝三									任期2年 15.3.31
環境保全センター運営委員会			澤村正也							任期2年 15.3.31
国際交流委員会		藤本正行								任期2年 15.3.31
国際交流委員会学術交流専門委員会		藤本正行								国際交流委員から選考 任期同上
留学生センター留学生指導専門委員会		松永悟明								任期なし (留学生担当教官)
広報委員会広報誌「リテラ・ポプリ」編集専門委員会								*川村信人		任期1年 15.3.31
高等教育機能開発総合センター 生涯学習計画研究委員会						中田允夫				任期2年 15.3.31
高等教育機能開発総合センター 生涯学習計画研究委員会公開講座専門委員会		鈴木久男								任期2年 15.11.30
図書館委員会								菊地 武		任期2年 15.3.31
図書館委員会北分館委員会								*菊地 武		任期2年 15.3.31
遠友学舎企画運営委員会					内藤俊雄					任期2年 16.3.31
言語文化部共同利用委員会	津田谷公利									任期2年 15.5.31
低温科学研究所運営協議会						*長田義仁				任期2年 15.4.30
低温科学研究所共同利用委員会								*遊馬芳雄		任期2年 14.9.30
触媒化学研究センター運営委員会					*佐々木陽一					任期2年 15.3.31
触媒化学研究センター協議委員会			*宮下正昭							任期2年 15.3.31
触媒化学研究センター点検評価委員会					*佐々木陽一					任期1年 15.3.31
大型計算機センター運営委員会		根本幸児			野呂武司				見延庄士郎	任期2年 16.3.31
大型計算機センター協議委員会		*石川健三								任期2年 16.3.31
大型計算機センター運営委員会システム専門委員会		*羽部朝男			*稲辺 保					任期2年 16.3.31
大型計算機センター運営委員会		*大西 明								任期2年 16.3.31
大型計算機センター運営委員会広報専門委員会								*見延庄士郎		任期2年 16.3.31
アイソトープ総合センター運営委員会					矢澤道生					任期2年 14.6.30

専攻等名 委員会名	数 学 専 攻	物 理 学 専 攻	化 学 専 攻		生 物 科 学 専 攻		地 球 惑 星 科 学 専 攻		そ の 他	備 考
			化 学	化 学 二	生 物 学	高 分 子 機 能 学	地 球 惑 星 物 質 科 学	地 球 物 理 学		
アイソトープ総合センター利用者協議会					山下正兼					任期2年 15.11.30
機器分析センター運営委員会			鈴木孝紀							任期2年 15.4.30
量子集積エレクトロニクス研究センター運営委員会		中原純一郎								任期2年 15.3.31
エネルギー先端工学研究センター運営委員会		熊谷健一								任期2年 16.3.31
エネルギー先端工学研究センター 超高圧電子顕微鏡研究室専門委員会							藤野清志			任期2年 15.3.31
高等教育機能開発総合センター 予算・施設委員会		伊土政幸								任期2年 15.3.31
高等教育機能開発総合センター 安全管理委員会		鈴木久男								任期2年 15.3.31
先端科学技術共同研究センター運営委員会						西村紳一郎				任期2年 16.3.31
先端科学技術共同研究センター運営委員会					*鈴木範男 *片倉晴雄 *山口淳二					任期2年 15.3.31
研究支援室共同利用委員会										
知識メディア・ラボラトリー(VBL)運営委員会		加藤幾芳								任期2年 16.3.31
情報メディア教育研究総合 センター教育利用専門委員会	松本健司									任期2年 15.3.31
総合博物館運営委員会					鈴木範男 *増田道夫 *増田道夫					任期2年 15.3.31 (増田教授は資料部長併任)
総合博物館点検評価委員会										任期2年 15.3.31
総合博物館点検評価委員会 学術標本検討専門委員会										
北方生物圏フィールド科学センター 運営委員会					片倉晴雄		岡田尚武			任期2年 15.3.31
北方生物圏フィールド科学センター 点検評価委員会					*片倉晴雄					任期1年 15.3.31
創成科学研究機構運営委員会			*魚崎浩平						研究科長	任期2年 16.3.31
定員活用審査会									研究科長	任期なし
病原性微生物安全管理体制検討会					高田泰弘					任期なし
創基125周年記念事業実行委員会									研究科長	任期なし
創基125周年記念事業実行委員会出版等専門委員会		石垣壽郎								任期なし(125年誌編集室員兼務)
共同利用施設 理学研究科 高分解能核磁気共鳴装置 研究室運営委員会			宮下正昭 鈴木孝紀	辻 孝 矢澤道生		◎新田勝利 出村 誠(~15.3.31)				任期2年 15.5.31
共同利用施設 理学研究科 エネルギー分散、波長分散散光X線分析研究室		小田 研	分島 亮	江川 徹			◎三浦裕行			任期2年 15.8.15
共同利用施設 理学研究科		伊土政幸 ◎野村一成				新田勝利				任期2年 16.3.31
極低温液化センター運営委員会		網塚 浩								

専攻等名 委員会名	数学専攻	物理学専攻	化学専攻		生物学専攻		地球惑星科学専攻		その他	備考
			化学	化学二	生物学	高分子機能学	地球惑星物質科学	地球物理学		
共同利用施設 理学研究科 量子干渉方式広領域領域磁化測定研究室運営委員会		◎伊土政幸 網塚 浩		今村 平		佐々木直樹				任期2年 14.9.30
共同利用施設 医学研究科 超遠心機研究室運営委員会				矢澤道生						任期2年 15.3.31
共同利用施設 工学研究科 核磁気共鳴装置研究室運営委員会		熊谷健一	宮下正昭	井川駿一		新田勝利				任期なし
共同利用施設 工学研究科 理工系放射線同位元素総合研究室運営委員会				今村 平						任期2年 16.3.31
共同利用施設 工学研究科 全自動微小部分析装置運営委員会							菊地 武			任期3年 17.3.31
共同利用施設 工学研究科 光電子分光分析研究室運営委員会			八木一三							任期3年 15.12.31
共同利用施設 工学研究科 高エネルギー超強力X線回折室運営委員会		小野寺 彰								任期2年 16.3.31
共同利用施設 工学研究科 汎用シュミレーター施設運営委員会									島村英紀 (地震)	任期なし
住 宅 委 員 会									人事担当専門職員	任期1年 15.3.31